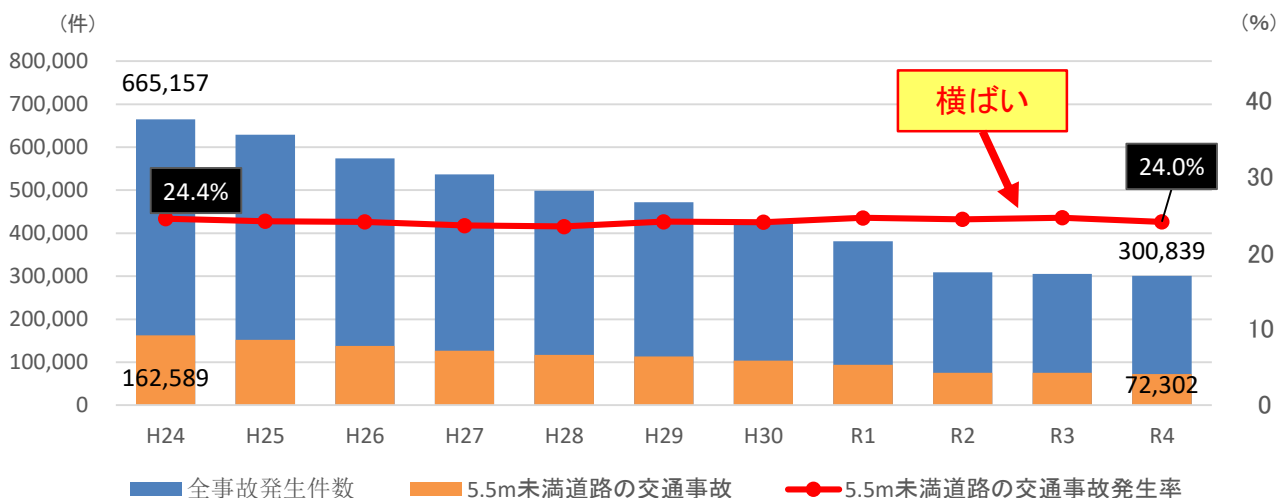


生活道路におけるゾーン対策 「ゾーン30」「ゾーン30プラス」の概要

○ 生活道路対策の必要性

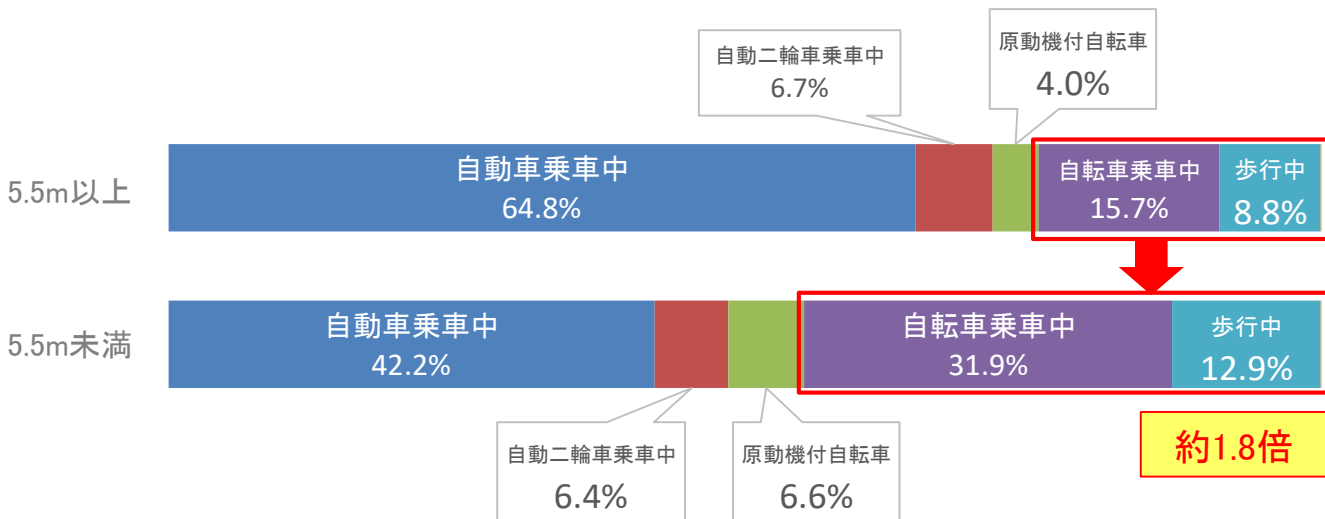
全国における交通事故(人身事故)発生件数は年々減少していますが、このうち車道幅員5.5m未満の道路における交通事故発生件数の減少率は鈍化しており、全交通事故発生件数に占める割合は横ばいで推移しています。

交通事故発生件数と車道幅員5.5m未満道路の交通事故発生率の推移



令和4年中における状態別の交通事故死傷者数をみると、車道幅員5.5m未満の道路における歩行者・自転車乗用中の死傷者が占める割合は、車道幅員5.5m以上の道路の約1.8倍でした。

幅員別・状態別死傷者数(令和4年中)



「ゾーン30」

ゾーン30とは、生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域(ゾーン)を定めて最高速度30km/h毎時の速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。

○ 「ゾーン30」における主な対策内容

～対策のポイント～

- ・ ゾーン内における走行速度の抑制
- ・ 通過交通（抜け道としての通行）の抑制・排除

区域規制標識の設置



路面表示（法定外）の設置



大型通行禁止規制等の実施



ゾーン入口の対策

標識・表示の設置により、ドライバーに対し、ゾーンの入口を明示

ゾーン内の対策

最高速度30km/hの区域規制の実施、路側帯の設置・拡幅と中央線抹消、物理的デバイス(ハンプ等)の設置等による速度抑制や、通行禁止等の交通規制の実施による通過交通の抑制・排除

ゾーン周辺の対策

ゾーン周辺道路における交通流の円滑化により、ゾーン内への通過交通の流入を抑制・排除

最高速度規制の実施



ハンプ等の設置



路側帯の設置・拡幅と中央線の抹消



信号制御の見直し



右折車線の設置と進行方向別通行区分規制の実施



<凡 例>

- 対策名** 公安委員会の対策
- 対策名** 道路管理者の対策
- 対策名** 公安委員会又は道路管理者の対策

※ 既存のゾーン30に、既に物理的デバイスが設置されている場合、最高速度30km/hの区域規制拡大等の見直しや物理的デバイスの増設等対策の更なる充実について検討の上、地域住民等との合意形成を図りながら、整備計画を策定し、ゾーン30プラスに移行する。

「ゾーン30プラス」

生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、ゾーン30プラスでは、最高速度30km/hの区域規制のほか、交通実態に応じて区域内における大型通行禁止、一方通行等の各種交通規制を実施するとともに、ハンプやスムーズ横断歩道などの物理的デバイスを適切に組み合わせて交通安全の向上を図っています。

○ 「ゾーン30プラス」における主な対策内容

警察による低速度規制
ゾーン30

ゾーン30
最高速度30km/hの
区域規制

道路管理者による物理的デバイス設置

進入抑制対策



ライジングボラード

ポールを昇降させ、交通規制が実施されている時間帯等の車両の進入を抑制する構造物です。

速度抑制対策



ハンプ

路面をなめらかに盛り上げ、30km/h以上の速度で走行する車両の運転者に不快感を与える構造物です。



スムーズ横断歩道

車両の運転者に減速と横断歩行者優先の遵守を促す、ハンプと横断歩道を組み合わせた構造物です。



狭さく

車道の通行部分を局所的に狭くし、車両の速度を抑制する構造物です。



シケイン(クランク型)

一定区間の道路を直線的に屈曲させ、車両の速度を抑制する構造物です。



シケイン(スラローム型)

一定区間の道路をカーブさせ、車両の速度を抑制する構造物です。

ゾーン30プラス



看板

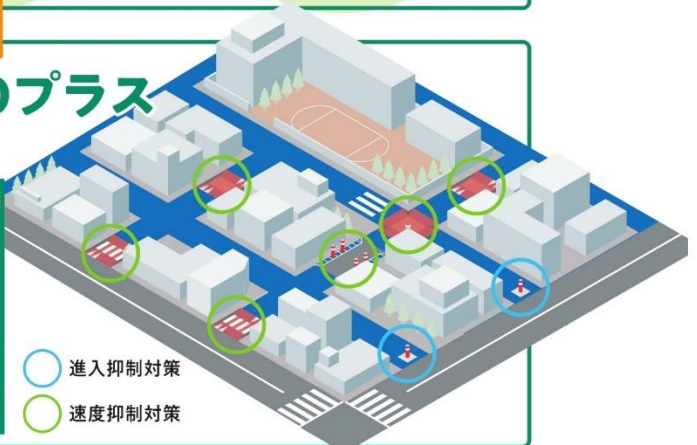
〈ゾーン30プラスの入口(岐阜県各務原市の例)〉

路面表示



○ 進入抑制対策

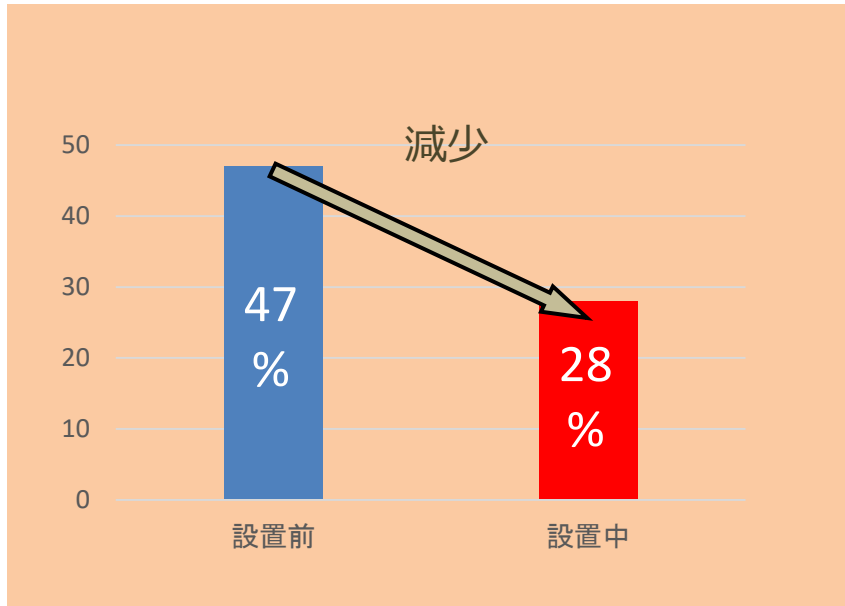
○ 速度抑制対策



○ 物理的デバイスの設置による効果検証結果

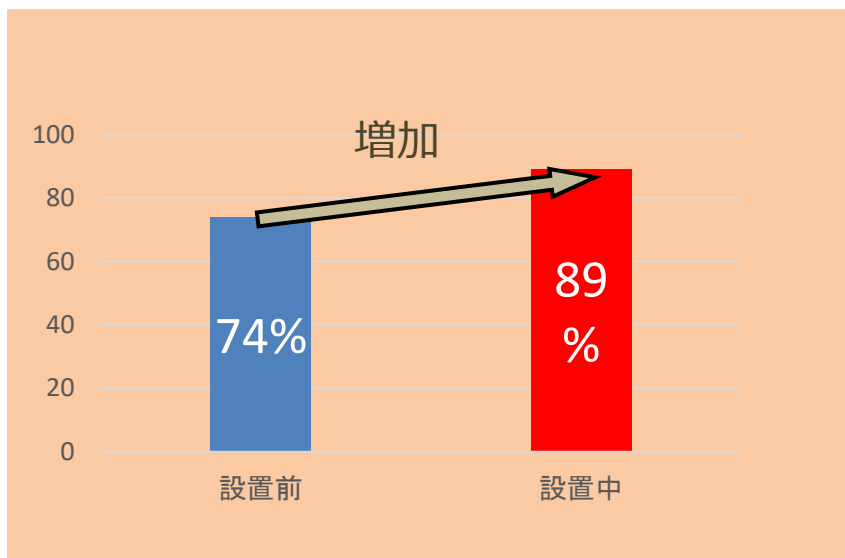
■ 各地(36都道府県)で設置したスムーズ横断歩道の設置効果検証結果

〈30km/hを超えて走行した自動車の割合〉



⇒ 30km/hを超えて走行する自動車の割合が低下

〈横断歩道付近で停止又は徐行した自動車の割合〉



⇒ 横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合の自動車の停止・減速割合が向上

- ※1 「30km/hを超えて走行する自動車の割合」は異常値を排除するため最大・最小値から各2.5%の値を排除している(信頼区間95%)。
- ※2 「横断歩道付近で停止又は徐行した自動車の割合」は歩行者が横断歩道を渡ろうとしている場合に通行した自動車を対象としている。
- ※3 本データはパンフレット「ゾーン30プラス～交通事故のない生活道路を目指して～」から抜粋したもの

ゾーン30・ゾーン30プラスの整備状況(令和4年度末)

都道府県	ゾーン30						ゾーン30 プラス
	平成30年度末 まで	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度末 合計	令和4年度末 合計
北海道	125	14	12	6	4	161	1
青森	36	2	0	1	6	44	1
岩手	30	2	2	2	2	38	1
宮城	79	3	2	5	1	90	1
秋田	52	5	5	4	5	71	0
山形	30	0	0	0	2	32	0
福島	60	4	4	2	1	71	2
警視庁	336	28	30	28	19	441	1
茨城	69	3	2	4	3	81	2
栃木	50	1	7	4	0	62	1
群馬	53	4	2	2	1	62	0
埼玉	233	28	28	26	10	325	10
千葉	190	6	2	6	5	209	3
神奈川	228	2	1	1	1	233	2
新潟	83	1	0	3	1	88	0
山梨	21	1	0	0	1	23	0
長野	103	12	3	3	0	121	2
静岡	138	8	10	5	2	163	5
富山	29	1	1	1	1	33	0
石川	32	1	2	1	1	37	0
福井	29	0	2	1	1	33	0
岐阜	55	15	7	11	4	92	5
愛知	244	8	7	3	3	265	2
三重	44	3	3	1	1	52	1
滋賀	38	1	0	0	0	39	0
京都	88	2	1	2	0	93	2
大阪	235	3	1	1	2	242	1
兵庫	155	1	2	3	11	172	1
奈良	44	2	2	2	0	50	1
和歌山	24	2	0	1	0	27	0
鳥取	17	3	4	2	2	28	0
島根	15	1	0	0	1	17	0
岡山	47	1	2	1	0	51	0
広島	55	19	5	4	0	83	0
山口	47	0	1	0	0	48	0
徳島	15	0	0	0	1	16	2
香川	23	1	0	1	0	25	0
愛媛	43	3	4	3	2	55	1
高知	17	0	0	1	0	18	0
福岡	201	9	5	4	3	222	9
佐賀	19	2	1	4	0	26	0
長崎	34	4	1	1	1	41	2
熊本	40	1	0	3	0	44	4
大分	29	2	1	0	1	33	2
宮崎	36	3	2	1	2	44	0
鹿児島	45	3	4	2	0	54	0
沖縄	33	0	0	0	0	33	1
全国合計	3649	215	168	156	101	4,288	66

※平成25年に青森県において整備し令和2年度に解除した1か所については、平成30年度末までの欄に計上されているが、令和4年度末合計には含まれていない。

※ゾーン30プラスの令和4年度末合計は、ゾーン30プラスを実施した地区について計上したもの。

※各都道府県警察からの報告により集計。

「ゾーン30プラス」を実施した地区

計66地区

	都道府県	市町	「ゾーン30プラス」地区名
1	北海道	札幌市	福住地区
2	青森県	田子町	田子地区
3	岩手県	花巻市	四日町・下幅地区
4	宮城県	富谷市	大清水一丁目地区
5	福島県	福島市	清明町地区
6	福島県	福島市	南矢野目地区
7	東京都	墨田区	本所・石原地区
8	茨城県	つくば市	要地区
9	茨城県	水戸市	渡里地区
10	栃木県	壬生町	北小林地区
11	埼玉県	さいたま市	浦和区前地一～三丁目、南区大谷場一丁目地区
12	埼玉県	さいたま市	緑区原山二・三丁目地区
13	埼玉県	さいたま市	北区宮原町一・二丁目地区
14	埼玉県	さいたま市	見沼区深作一丁目、春岡二丁目地区
15	埼玉県	さいたま市	大宮区三橋二～四丁目、西区水判土地区
16	埼玉県	さいたま市	岩槻区美園東一・二丁目地区
17	埼玉県	戸田市	美女木二・三丁目地区
18	埼玉県	草加市	住吉2丁目地区
19	埼玉県	熊谷市	籠原南地区
20	埼玉県	越谷市	千間台西一・二丁目地区
21	千葉県	船橋市	古作地区
22	千葉県	船橋市	本町地区
23	千葉県	船橋市	前原地区
24	神奈川県	横浜市	緑区中山町地区

	都道府県	市町	「ゾーン30プラス」地区名
25	神奈川県	横浜市	南区通町4丁目地区
26	長野県	長野市	中御所二丁目地区
27	長野県	長野市	栗田北中地区
28	静岡県	静岡市	清水区入江東地区
29	静岡県	静岡市	清水区鶴舞町地区
30	静岡県	浜松市	中区船越町地区
31	静岡県	浜松市	中区野口・八幡町地区
32	静岡県	沼津市	花園町地区
33	岐阜県	岐阜市	加納新本町地区
34	岐阜県	岐阜市	金宝町地区
35	岐阜県	各務原市	大佐野町地区
36	岐阜県	可児市	今渡地区
37	岐阜県	可児市	広見地区
38	愛知県	名古屋市	ほのか地区
39	愛知県	名古屋市	汐路西地区
40	三重県	桑名市	修徳地区
41	京都府	久御山町	珠城地区
42	京都府	舞鶴市	桃山町地区
43	大阪府	豊中市	東豊中町6丁目地区
44	兵庫県	明石市	王子1丁目、北王子町地区
45	奈良県	大和高田市	松塚地区
46	徳島県	徳島市	新町小学校地区
47	徳島県	徳島市	北井上地区
48	愛媛県	松山市	東石井地区
49	福岡県	北九州市	柳町地区
50	福岡県	北九州市	中島地区

	都道府県	市町	「ゾーン30プラス」地区名
51	福岡県	北九州市	曾根東小地区
52	福岡県	北九州市	熊西小地区
53	福岡県	北九州市	西王子町・青山地区
54	福岡県	北九州市	医生ヶ丘・千代ヶ崎地区
55	福岡県	北九州市	大浦地区
56	福岡県	北九州市	引野小学校地区
57	福岡県	古賀市	古賀東小学校地区
58	長崎県	佐世保市	高砂町・天満町地区
59	長崎県	佐世保市	卸本町・大塔町地区
60	熊本県	熊本市	東区東町地区
61	熊本県	熊本市	中央区新屋敷1丁目地区
62	熊本県	水俣市	浜町地区
63	熊本県	合志市	永江団地地区
64	大分県	大分市	中戸次地区
65	大分県	別府市	青山地区
66	沖縄県	那覇市	若狭小学校地区

※ 整備計画で設定した「ゾーン30プラス」における短期対策が完了した地区（令和5年3月末時点）

「ゾーン30プラス」を推進中の地区

計56地区

	都道府県	市町	「ゾーン30プラス」地区名
1	青森県	弘前市	城西地区
2	青森県	深浦町	北金ヶ沢地区
3	青森県	むつ市	昭和町地区
4	岩手県	盛岡市	西見前地区
5	岩手県	盛岡市	向中野地区
6	宮城県	美里町	北浦地区
7	山形県	村山市	楯岡新町地区
8	山形県	大石田町	大石田地区
9	山形県	朝日町	大谷地区
10	福島県	塙町	塙地区
11	茨城県	常陸大宮市	抽ヶ台町地区
12	茨城県	常陸大宮市	根本地区
13	栃木県	栃木市	入舟町地区
14	千葉県	市原市	ちはら台南6丁目地区
15	新潟県	上越市	本城町、西城町1・2丁目地区
16	山梨県	都留市	上谷地区
17	長野県	塩尻市	大門・高出地区
18	静岡県	静岡市	駿河区中田地区
19	静岡県	磐田市	大泉町地区
20	石川県	能美市	宮竹町地区
21	岐阜県	垂井町	表佐地区
22	愛知県	豊田市	元宮地区
23	愛知県	大府市	北山地区
24	三重県	菰野町	竹成・永井地区

	都道府県	市町	「ゾーン30プラス」地区名
25	大阪府	枚方市	伊加賀地区
26	兵庫県	明石市	大道町2丁目、硯町1丁目地区
27	兵庫県	姫路市	城北地区
28	奈良県	奈良市	奈良女子大学周辺地区
29	鳥取県	鳥取市	日進小学校地区
30	島根県	松江市	学園一丁目地区
31	岡山県	津山市	山北～北園町地区
32	広島県	広島市	東区福田地区
33	広島県	福山市	新涯一丁目地区、新涯三丁目地区
34	香川県	高松市	伏石地区
35	愛媛県	大洲市	菅田地区
36	高知県	四万十市	中村小学校地区
37	福岡県	福岡市	板付・麦野地区
38	福岡県	嘉麻市	稲築西地区
39	福岡県	広川町	中広川小学校地区
40	長崎県	長崎市	平野町地区
41	長崎県	大村市	古賀島町地区
42	長崎県	佐世保市	日宇町地区
43	長崎県	松浦市	志佐町地区
44	長崎県	諫早市	西小路町外地区
45	長崎県	東彼杵町	蔵本郷（彼杵小周辺）地区
46	熊本県	熊本市	西区春日地区
47	熊本県	熊本市	中央区新屋敷3丁目地区
48	熊本県	熊本市	東区健軍地区（西側）
49	宮崎県	串間市	西方地区
50	宮崎県	えびの市	飯野地区

	都道府県	市町	「ゾーン30プラス」地区名
51	宮崎県	日向市	比良地区
52	宮崎県	日南市	戸高地区
53	宮崎県	綾町	南麓地区、東中坪地区、西中坪地区、神下地区
54	鹿児島県	南種子町	中之上地区
55	鹿児島県	枕崎市	千代田地区
56	鹿児島県	枕崎市	立神地区

※ 「ゾーン30プラス」の整備計画が策定された地区（令和5年3月末時点）